

日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing

沖縄県立看護大学・大学院集中講義4：
ヘルスプロモーションのイメージを描く試み

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-10-01 キーワード (Ja): キーワード (En): health promotion, visual image 作成者: 守山, 正樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/664

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



WB19 沖縄県立看護大学・大学院集中講義 4 : ヘルスプロモーションのイメージを描く試み



<https://taiwa-act.blogspot.com/2014/02/wb19.html>

皆さんこんにちは。今回は沖縄県立看護大学の2014年2月の集中講義、前半の第2日目に取り上げたヘルスプロモーションのイメージについてです。

ヘルスプロモーションについては既にWB13で考察しました。1986年のオタワ憲章で示されたヘルスプロモーションの考え方が日本に紹介されたとき、重要な役割を果たしたのは、人が健康という球を坂道に沿って押し上げている様子を描いた、この図です。グーグルで検索語を「ヘルスプロモーション」としてネットの画像検索をかけると、今でもこの図のバリエーションが数多く表れます。しかし今回の集中講義では、こうした図に囚われることなく、受講者に、自由にヘルスプロモーションのイメージを描いてもらいました。

まず各自がオタワ宣言を読み、しばらくオタワ宣言の意味について意見交換を行った後、6名の受講者が描いた絵を、以下に示します。

1枚目の絵。男女のカップルが円形に連なっている様子が、左周りに描かれています。出発点は左端の赤ちゃん一人、次は幼児のカップル、真ん中は壮年期、そして更年期、老年期と続きます。隣り合うカップルはラセンで繋がっています。上方には企業、学校、家庭、病院などの建物が描かれており、ラセンはそこにも伸びています。

2枚目の絵。上方の三つの円には、Advocate、Enable、Mediateと書かれています。真ん中にはオレンジ色のHealthと書かれた楕円があります。それを支えるように、手をつないだ人々が描かれています。子供を抱いている人、元気なさそうに下を向いている人、元気そうな3人の人、子どもらしい小さな人。

3枚目の絵。真ん中に「健康、幸せ」と書いた円があり、周りを6人の人（一人は小さい）が囲んでいます。上方には「平和な社会」とあり、住居、病院、教育と建物が描かれています。周囲には「それぞれで、できることを」、「健康にとりくむ政策」、「力を合わせて」などと書かれています。

4枚目の絵。ヒマワリのような花の中に「幸福」と、その下には「健康的なライフスタイル」と書かれ、その下にAdvocate、Enable、Mediateとあります。それを、横に連なる5人の人々が支えています。足元には「健康のための基本的な条件」と書かれています。

5枚目の絵。真ん中に7人の人々が、横に連なるように書かれています。ナースキャップをかぶっている人、杖をついているおばあさんらしい人、子供を抱っこしている人が見えます。猫も1匹描かれています。上の方には「健康」、Advocate、Enable、Mediateとあります。人々の下には「まずは基盤にあって」として「平和、住居、教育、食物、収入、安定した生態系」などプライマリーヘルスケアを思わせる言葉が書かれています。

6枚目の絵。6人の人が輪になっています。中央の人は教育という帽子をかぶり「力を与える」というタスキをかけています。「唱導・支援」「調整・調停」のタスキをかけた人もいます。平和という帽子をかぶった大人と子供。手前の中央にいる人は「平和、食物、住居」とかかれた串刺しを持っています。上方には、キリスト教会やモスクなど Spirituality を表す建物が描かれ、それぞれに健康と記されています。

受講生の皆さんは、人が水平につながるイメージを、オタワ宣言から読み取ったようです。

(守山正樹)